

昭和二十三年四月—六月

日本銀行勘定に依る日本銀行券増減原因分析

(資産)			
貸出金	(+)	九、九八〇	
国債其他証券	(-)	一、一四六	
国債	(+)	二二	(市中銀行より買入超)
大蔵省証券	(+)	三、九五九	(閉鎖機関整理委員会売却)
食糧証券	(-)	九、四二六	
復興金融債券	(+)	四、二八〇	
株式出資証券	(+)	一九	(払込)
代理店勘定	(+)	三〇八	
仮払金	(-)	八三	
其他	(-)	四、二七六	
(負債)			
当座預金	(-)	九〇二	
其他預金	(+)	一、二二〇	
其他	(+)	一、二七〇	

(3) 然しながら右の対政府関係に含まれている預金部収支中、郵便貯金等純民間関係資金と見做されるものゝ収入超過五億六百万円を民間関係より差引き政府関係に加えると共に、本月発行の復興四分利国庫証券七億円中日本銀行よりの借入金により消化したとみられるもの三億四千二百万円は政府に対する信用創造と見做し、之も民間関係より政府関係に移す。更に本月政府の復興金融金庫に対する払込十五億円は産業資金である故、政府関係より控除するのが適當であらう。

かくて対政府関係に於ては三億九千二百万円の収縮を見たのに対し、対民間関係に於ては却つて三十八億四千七百万円の流出をみたこととなる。

日本銀行券増減原因分析 昭和二十三年四月—六月

(黒崎)

(1) 四月中に於ける日本銀行勘定の増減を見るに次の通りである。

一、四月中			
政府貸上金	(+)	一、八五三	日本銀行券 (+) 一、六六五
国債其他証券	(-)	一、六二二	政府預金 (-) 三、四四九
内訳			
政府関係	(-)	五、八一七	当座預金 (-) 八一八
民間関係	(-)	四、八六三	其他預金 (+) 一六二
代理店勘定	(+)	一六七	本支店政府勘定 (-) 五、〇七九
仮払金	(-)	四三	其他 (+) 二、四五四
其他	(+)	三九七	
計	(-)	五、〇六五	計 (-) 五、〇六五

(2) 右によれば政府との取引に因つて流出した日本銀行券は四十二億二千二百万円に上るのに対し、民間との取引に於ては却つて二十五億五千七百万円の収縮を見たこととなる。

◎対政府関係 (算定の基礎)

(資産)			
政府貸上金	(+)	一、八五三	
国債其他証券	(-)	四、八六三	
大蔵省証券	(-)	五、七〇〇	
食糧証券	(+)	二、三七	
薪炭証券	(+)	六〇〇	
代理店勘定	(+)	一七	
(負債)			
日本銀行券	(+)	一、六六五	
政府預金	(-)	三、四四九	
当座預金	(-)	八一八	
其他預金	(+)	一六二	
本支店政府勘定	(-)	五、〇七九	
其他	(+)	二、四五四	
計	(-)	五、〇六五	

仮払金	(-)	五三
其他	(+)	五七九
(負 債)		
政府預金	(-)	三、四四九
本支店政府勘定	(-)	五、〇七九
其他	(+)	一、八三九

(単位 百万円)

(算定の基礎)

貸出金	(-)	一、六二二
国債其他証券	(-)	九五四

国債	(+)	一一六	市中銀行等より買入超(内戦)
食糧証券	(-)	一、九八六	復興金融債買入五〇〇)
復興金融債券	(+)	九一六	市中銀行等へ売却超
			市中銀行へ売却受
			九二八
			一二二

(3) 然し乍ら右の対政府関係に含まれている預金部の収支中、郵便貯金等純民間

関係と見做されるものゝ収支を見るに、地方公共団体に対する貸付金が増加した為十八億二千二百万円の支払超過を示しているから、之を政府関係より差引き民間関係に加える。次に農林中央金庫に於ける食糧買入代金前受金勘定は月中四十三億四千万円を増加し、又新炭代金立替金勘定は二億四千三百万円の減

少を示した為、同金庫は其の余裕金を以て日本銀行に対し月中三十一億七千六百万円の借入金返済を行ったが、これは同金庫が既に政府に代り立替払したものの返済と見做し、政府関係より民間関係に移す。

次に本月発行の復興四分利国庫証券六億六千万円中日本銀行よりの借入金により消化したとみられるもの三億三千七百万円は、政府に対する信用創造と見做し、民間関係より政府関係に移す。尚復興金融債金庫に対する政府出資金十五億円は産業資金である故、消費的財政資金による通貨膨脹を算出するには政府関係より控除するのが適當であろう。

かくて対政府関係に於ては十九億三千九百万円の収縮をみたのに対し、対民間関係に於ては却つて三十六億四百万円の流出をみたこととなるが、かく対民間関係に基く流出額が増加したのは農林中央金庫に対する政府の前渡金が増加したことによつてゐる。(黒崎)

二、五月中

(1) 五月中に於ける日本銀行勘定の増減を見るに次の通りである。

資 産		負 債			
政府貸上金	(+)	六、〇三四	日本銀行券	(+)	三、〇五八
貸出金	(-)	三、六六七	政府預金	(+)	一、九三〇
国債其他証券	(+)	三、三〇〇	当座預金	(+)	六七八
内訳 (政府関係)	(+)	二、二五八	其他預金	(-)	一、六五八
民間関係	(+)	一、〇四二	本支店政府勘定	(-)	四八八
代理店勘定	(+)	七四八	国庫送金為替	(+)	一、五五二
仮払金	(-)	四三九	其他	(+)	二六〇
其他	(-)	六四四	計	(+)	五、三三二
計	(+)	五、三三二			

(2) 右によれば政府との取引に因つて流出した日本銀行券は五十億七千七百万円に上るのに対し、民間との取引に於ては却つて二十億一千九百万円の収縮をみたこととなる。

◎対政府関係 (算定の基礎) (単位 百万円)

政府貸上金	(+)	六、〇三四	
国債其他証券	(+)	二、二五八	
大蔵省証券	(+)	三、〇〇〇	
食糧証券	(-)	一、七四二	
薪炭証券	(+)	一、〇〇〇	
引受		一、八九〇	
引受		四、七三二	
引受		一、八九〇	
引受		八、九〇〇	
引受		一、五〇〇	
引受		五、〇〇〇	

◎対民間関係 (算定の基礎) (単位 百万円)

貸出金	(-)	三、六六七	
国債其他証券	(+)	一、〇四二	
国債	(+)	八一	
食糧証券	(-)	五、二一〇	
復興金融債券	(+)	六、一七一	
市中より買入		一、三〇〇	
復興金融金庫へ		二、四四八	
閉鎖機関整理委		一、四六二	
市中銀行等へ売		六、一八五	
市中銀行等へ売		一四	
引超			
市中銀行等へ売			
引超			
市中銀行等へ売			
代理店勘定	(+)	七四八	
仮払金	(+)	四三	

日本銀行券増減原因分析 昭和二十三年四月一六月

其他 (負 債) (単位 百万円)

当座預金	(+)	六七八
其他預金	(-)	一、六五八
其他	(+)	二六〇

(3) 然し乍ら右の対政府関係に含まれている預金部収支中、郵便貯金等純民間関係と見做されるもの、支払超過十二億四千九百万円を政府関係より差引き民間関係に加えると共に、農林中央金庫の食糧及び薪炭代金前受金勘定の月中増加十億八千万円中日本銀行よりの借入金返済に当てられた九億八千四百万円は同金庫立替金の返済と見做し、政府関係より民間関係に移す。更に本月発行の復興四分利国庫証券八億円中日本銀行よりの借入金により消化したとみられるもの三億四千万円は、政府に対する信用創造と見做し民間関係より政府関係に移す。又復興金融金庫に対する政府出資の払込金二十五億円は民間関係に加えられるべきであろう。

かくて対政府関係に基く流出額は六億八千四百万円、対民間関係に基くそれは二十三億七千四百万円となるが、対民間関係の流出額が対政府関係を上廻っているのは主として復興金融金庫に対する政府の払込みが行われたことに基因している。(黒崎)

三、六月中

(1) 六月中に於ける日本銀行勘定の増減を見るに次の通りである。

政府貸上金	(+)	四、一〇〇	日本銀行券	(+)	七、〇八九
貸出金	(-)	四七二	政府預金	(-)	一、五八五
国債其他証券	(-)	二、〇四七	当座預金	(+)	四三一
内訳			其他預金	(-)	一、二九九
政府関係	(+)	二、〇三四	国庫送金為替	(-)	二、七二五
民間関係	(-)	四、〇八一	其他	(+)	七五三
代理店勘定	(-)	八一			
仮払金	(+)	六一			

資料

(2) 右によれば政府との取引に因つて流出した日本銀行券は百十三億五千七百万円に上るのに対し、民間との取引に於ては却つて四十二億六千八百万円の収縮をみたこととなる。

本支店政府勘定	(+) 二、〇二二		
其他	(-) 九〇九		
計	(+) 二、六六四		
		計	(+) 二、六六四
◎対政府関係 (単位 百万円)			
(算定の基礎)			
政府貸上金	(+) 四、一〇〇		
国債其他証券	(+) 二、〇三四		
国債	(-) 六一	(償還)	
大蔵省証券	(-) 三、〇〇〇	(償還)	
食糧証券	(+) 五、〇九五	預金部へ売却超	受二四、〇九〇 還一七、四九五 一、五〇〇
代理店勘定	(+) 一		
仮払金	(+) 四七		
本支店政府勘定	(+) 二、〇二二		
其他	(-) 一、一四七		
(負債)			
政府預金	(-) 一、五八五		
国庫送金為替	(-) 二、七二五		
◎対民間関係 (単位 百万円)			
(算定の基礎)			
貸出金	(-) 四七二		
国債其他証券	(-) 四、〇八一		

(3) 然し乍ら右の対政府関係に含まれている預金部の収支中、郵便貯金等純民間関係と見做されるもの、収支をみるに、地方公共団体に対する貸付金が増加したため二十二億三千三百万円の支払超過を示しているから、之を政府関係より差引き民間関係に加えると共に、本月発行の復興四分利国庫証券八億円中日本銀行の借入金により消化したとみられるもの二億八千六百万円は政府に対する信用創造と見做し、民間関係より政府関係に移す。又復興金融庫に対する政府出資の払込金四十億円は民間関係に加えるのが適当であろう。

かくて対政府関係に基く流出額は五十四億一千万円、対民間関係に基くそれは十六億七千九百万円となるが、対政府関係に基く流出額が増加しているのは政府資金撒布超過額が七十二億円に上つた結果である。(黒崎)

国債	(+) 六四	(市中より買入超過)	
食糧証券	(-) 五、九九九		
復興金融債券	(+) 一、八五四	復興金融庫へ売却超	二、一五二
代理店勘定	(-) 八二	閉鎖機関整理委員会へ売却超	二、九九八
仮払金	(+) 一四	市中銀行等へ売却超	八四八
其他	(+) 二三八	市中銀行へ売却	五、七五七
(負債)			
当座預金	(+) 四三一	償引	三、八八三
其他預金	(-) 一、二九九	市中銀行へ売却	一九
其他	(+) 七五三		